

an international edition of  
THE UPPER ROOM®

日本語版

No.  
435

2023

5・6月号

# アパ・ルーム



DAILY DEVOTIONAL GUIDE

# 聖書通読日課表

5月

6月

日	朝	夕	日	朝	夕
1	列王記上 1,2	ローマ書 5	1	歴代誌下 5,6,7	Ⅱコリント書 4
2	” 3,4,5	” 6	2	” 8,9	” 5
3	” 6,7	” 7	3	” 10,11,12	” 6
4	” 8,9	” 8	4	” 13,14,15,16	” 7
5	” 10,11	” 9	5	” 17,18,19,20	” 8
6	” 12,13	” 10	6	” 21,22,23	” 9
7	” 14,15,16	” 11	7	” 24,25	” 10
8	” 17,18,19	” 12	8	” 26,27,28	” 11
9	” 20	” 13	9	” 29,30	” 12
10	” 21,22	” 14	10	” 31,32,33	” 13
11	列王記下 1,2,3	” 15	11	” 34,35,36	ガラテヤ書 1
12	” 4,5	” 16	12	エズラ記 1,2,3	” 2
13	” 6,7,8	Ⅰコリント書 1	13	” 4,5,6	” 3
14	” 9,10,11	” 2	14	” 7,8	” 4
15	” 12,13,14	” 3	15	” 9,10	” 5
16	” 15,16,17	” 4	16	ネヘミヤ記 1,2,3	” 6
17	” 18,19,20	” 5	17	” 4,5,6	エフェソ書 1
18	” 21,22,23	” 6	18	” 7,8	” 2
19	” 24,25	” 7	19	” 9,10	” 3
20	歴代誌上 1,2	” 8	20	” 11,12,13	” 4
21	” 3,4	” 9	21	エステル記 1,2,3	” 5
22	” 5,6	” 10	22	” 4,5,6	” 6
23	” 7,8	” 11	23	” 7,8,9,10	フィリビ書 1
24	” 9,10,11	” 12	24	ヨブ記 1,2,3	” 2
25	” 12,13,14,15	” 13	25	” 4,5,6,7	” 3
26	” 16,17	” 14	26	” 8,9,10	” 4
27	” 18,19,20	” 15	27	” 11,12	コロサイ書 1
28	” 21,22,23	” 16	28	” 13,14	” 2
29	” 24,25,26	Ⅱコリント書 1	29	” 15,16,17	” 3,4
30	” 27,28,29	” 2	30	” 18,19	Ⅰテサロニケ書 1
31	歴代誌下 1,2,3,4	” 3			

# THE UPPER ROOM®

## DAILY DEVOTIONAL GUIDE

**Kimberly Orr**

World Editor and Publisher



***The world's most widely read daily devotional guide***

INTERDENOMINATIONAL 教派を超え  
INTERNATIONAL 国家を超え  
INTERRACIAL 民族を超えて  
世界中で 74 版が 36 言語で愛用されている

定価 400 円 (税込) 年 6 回発行  
年間購読 3,300 円 (税込・送料込) 海外は \$ 35 (送料込)  
**特別サービス価格有**  
くわしくは綴じ込みのハガキをご覧ください。

**冊子のお問い合わせ・申し込み・発送・支払い等、は**

**アパ・ルーム 発行事務所 岸 貴子**

〒 256-0812 神奈川県小田原市国府津 3-11-7

電話 0465-48-2010 FAX 0465-47-0760

振替口座 00110-7-193834 E-mail [urjpbooks@yahoo.co.jp](mailto:urjpbooks@yahoo.co.jp)

**編集・投稿・外国語版・E-アパ・ルームのお問い合わせは**

**アパ・ルーム日本委員会 委員長 峯野 龍弘**

**編集・発行人 白田 尚樹**

〒 173-0004 東京都板橋区板橋 3-32-1 板橋教会内

E-mail [urjapan12@gmail.com](mailto:urjapan12@gmail.com) 電話 03-3961-9685

**印刷・製本 ベーテルフォト印刷株式会社**

© 2023 The Upper Room, Nashville, TN (USA). All rights reserved.  
[www.upperroom.org](http://www.upperroom.org)

# アパ・ルーム

(No.435)

日々の黙想の手引き書

2023 年 5 月 6 月

## 目 次

聖書通読日課表	表紙-2
アパ・ルームをお使いになるために	3
表紙画解説	4
今月のことば	5
世界が祈るために集うところ	6
5 月黙想文	7 ~ 37
祈りの研修室	38 ~ 40
寄稿者紹介写真 (1)	41
電子アパ・ルームのご案内	42
黙想文を寄稿しましょう	43
6 月黙想文	44 ~ 73
小グループのための スタディーガイド	74 ~ 80
編集室より	80
広告	表紙-3
寄稿者紹介写真 (2)	表紙-4

## アパ・ルームをお使いになるために

始める前に：30 秒ほど静かに座って心を整えましょう。2、3 回深呼吸をしてくつろぎましょう。

読む：聖書を開き、聖書朗読の箇所を読みます。そのあと、2、3 分静まって聖句について思いめぐらしましょう。心に何が浮かびましたか？ どこに注意が向きましたか？

引用聖句：引用されている聖句はその日の黙想の中心となるものです。その聖句をゆっくり読んで、あなたにとってどんな意味があるか考えましょう。週に一度か二度、その聖句を暗唱しましょう。

証し：アパ・ルームの黙想文は世界中の人々によって書かれたものです。このページの主要な部分である「証し」を讀んだ後、“この人が書いた言葉は、自分の人生にどのような関わりがあるのだろうか？” 自問しましょう。

祈祷：静思の時を終えるために、ページの下にある祈祷を祈りましょう。それに加えて、この黙想の間に心に浮かんだ人々や状況について祈るとよいでしょう。

今日の黙想：この一言は、その日の内容から得られた黙想に  
応え、まとめるよう奨めています。その黙想を日に 2、3  
度思い返し、静思の時間に聞こえた神の言葉を思い起こ  
しましょう。

祈祷の焦点：黙想の時間の後に、祈り続けるべき主題を提唱しています。これによって、世界中の信徒の祈りに加わる  
ことができます。

小グループでの使用：「小グループのためのスタディーガイド」  
を参考にしてください。

## 「モーセ、アロン、そしてフル」

画家：ウェイン・フォーティ（米国、現代絵画家）

解説：ナンシー・ケイソン

ウェイン・フォーティの絵は、ヨシュアの指揮の下、レフィディムでどう猛なアマレク人と戦ったイスラエルの民の勝利を祝っています。しかし、これは剣で敵を殺すような血なまぐさい戦闘の場面ではありません！むしろそれは、出エジプト記 17 章 8 節から 15 節の場면을想像して描いたもので、敵に立ち向かう時の祈りと人々の支援の力を強調しています。

真っ白な衣を身にまとったモーセ、アロン、そしてフルの 3 人は一体となり、この絵の前面を占めています。彼ら 3 人は、夕日が砂漠の色彩を赤く染め始めた時、この絵を鑑賞する人々に背中を向けて、眼下に繰り広げられる敵味方が入り乱れて戦っている戦場を見渡しています。モーセは中央に座り、両手を上げて、祈りと懇願の姿勢をとっています。11 節には、この戦いのために神様が用意されたものが記されています。「モーセが手を上げている間、イスラエルは優勢になり、手を下ろすと、アマレクが優勢になった」のです。

戦いは一日中続き、モーセは肉体的な疲労の中で、兄アロンと友人フルに助けを求めました。「モーセの手が重くなったので、アロンとフルは石を持って来てモーセの下に置いた。モーセはその上に座り、アロンとフルはモーセの両側に立って、彼の手を支えた。その手は、日の沈むまで、しっかりと上げられていた。」（出エジプト記 17：12）

私たちは皆、敵に直面した時や困難な状況に陥った時、砂漠の時を過ごします。あなたにとって、そのような時に最初にすべきことは祈ることでしょうか？ あなたの人生で、アロンやフルは誰でしょうか？ あなたが、祈りと励ましの言葉で支えることができる友人や指導者は誰でしょうか？

## ヨルダン川を渡る

イエスは、再びヨルダンの向こう側、ヨハネが最初に洗礼を受けていた所に行き、そこに滞在された。多くの人がイエスのもとに来て言った。「ヨハネは何のしるしも行わなかったが、彼がこの方について話したことは、すべて本当だった。」そこでは、多くの人がイエスを信じた。  
(ヨハネ福音書 10：40－42)

この聖句で、使徒ヨハネはしばしば見落とされる小さな事実を記録しています。イエス様がエルサレムに向かって最後の旅をした時、数年前に洗礼者ヨハネと出会った場所でヨルダン川を渡ったと記しています。イエス様は、安全策をとってユダヤ人の同胞の中に身を置くのではなく、ヨルダン川を渡り、ローマ帝国の支配がより強い地域を横切られたことは、イスラエルの民、イエス様、そして教会が果たすべき世界規模の執り成しの働きを具体的な形にして示したものです。

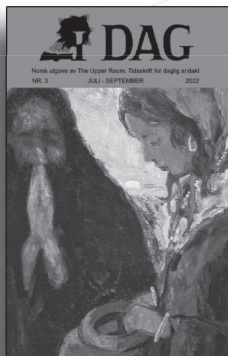
聖書を通して、水の中を横切ることは、何か新しいものの誕生を象徴しています。それが何かと言えば、新しい契約の民（出エジプト記 14：21－25、ヨシュア記 3 章）、神様の霊が新たに臨むこと（マルコ福音書 1：9－10）、そして今や、「全世界に行き、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」（マルコ福音書 16：15）という新たな働き。それも、私たちと同じ姿、考え方、そして行動をする人々だけに対する働きではありません。メソジスト運動の創始者の一人であるジョン・ウェスレーは、この呼びかけを、「世界はわが教区である」という言葉で分かりやすく言い換えています。

2023 年もその半ばに向かっている今、私たちは神様の愛と恵みの深みに分け入り、イエス様に従って、「ヨルダン川を渡る」聖なる勇気を持つことができるでしょうか。私たち自身の洗礼を思い出し、世界規模の福音宣教への決意を新たにしましょう。

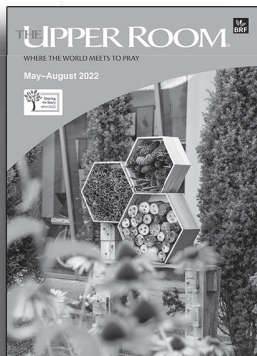


「アパ・ルーム」世界統括編集者兼出版者  
キンバリー・オーア牧師

## 世界が祈るために集うところ



ノルウェー語版



イギリス - 英語版

### 今号のアパ・ルームで掲載された著者たち

- シンディー・リー（イングランド）
- ジリアン・テットマー（イングランド）
- モーラ・イーデー・ニー・ホーゴイン（北アイルランド）
- ギャルド・ヘレーナ・ルエスク（ノルウェー）

アパ・ルーム誌国際版の「世界が祈るために集うところ」へのご寄付については、[www.upperroom.org/gift](http://www.upperroom.org/gift)をご覧ください。



## 「私たちは変えられる」

エイミー・E. スティール師

私にとって 2010 年は、歴史的な意味を持つ重要な年でした。私は、母が診断から天に召されるまで、わずか 1 カ月足らずで駆け抜けていくのを目の当たりにしました。最後の 3 週間は病院で母のそばで過ごすことができましたが、母が亡くなったときの心細さは想像を絶するものでした。どんよりした曇り空の下、遠く離れた友人や家族が集まった屋外での埋葬式のことは、ほとんど覚えていません。私にはすべてが非現実的に思えたのです。しかし、その同じ年、私は親友の孫の誕生に立ち会うことになったのです。私は、このような陣痛の激しさ、痛み、脆弱、そして子供がこの世に生まれてくるのを見る高揚感に対する心の準備がまったくできていませんでした。私は、同じ年に生と死に直面し、身が引き締まる思いでした。私の左耳のすぐ上に生えた 2 本の白髪は、私の神経系が生と死という究極の問題に打ちのめされたことの証拠です。

ペンテコステの時の聖霊降臨も、激しい風、炎のような舌、不思議なほど流暢な言葉、理解力など、同じように激しいものだったのでしょう。ある聖書の訳には、その日、聖霊を目撃した人々は驚き、怪しんでいたと書かれています。私は、彼らがこれ以上ないくらいにへりくだり、完全に打ちのめされたと想像します。この場合、その究極は神の霊の現れでした。集まってきた群衆は、手の届かないところにある何かを感じ取ったのです。つまり、慣れ親しんだものを手放し、未知のものを受け入れることです。彼らは当惑して尋ねました。「どうして私たちは、それぞれ自分の母国語で聞くことができるのですか?」(使徒 2:8) 集まった人々は、ハワード・サーマンが言うところの「高

められ深まる理解」を目撃したのです。サーマンは、私たちの周りにあるものが生まれ、死んでいくことについて、深い文章で表現しています。彼はこう書いています。「『高められ深まる理解』をよく見てください。私たちの周りの世界は死につつあり、新しい世界が誕生しているのです。』」\*

自分ではどうすることもできないことに、複数の方法で対応することができるのです。ペンテコステを体験した群衆の反応は様々でした。ある人は驚嘆し、ある人は疑問を抱き、またある人は嘲笑しました。馴染みのないものを排除し、理解できないものを嘲笑することは、信仰心が強く、神秘に駆り立てられ、深遠なものに慣れている私たちであっても、いかに簡単なことでしょう。私たちは、神の霊が自由に私たちの生活のあらゆる空間に入り込むことができることを、いかに忘れがちでしょうか。ペンテコステの聖霊降臨は、とても記念碑的なものであり、新しい時代、新しい時期、この「終わりの日」に期待すべき知らせを告げています。

幸いなことに、ペトロは群衆に語りかけ、その困惑を和らげ、時間と時間を超越した彼らとその子供たち、そして「遠くにいるすべての人」に救いの約束を指し示すためにそこにいます。(使徒 2:39) ペトロのメッセージは、測定し、調査し、評価し、予測できるものだけで動く不安定な世の中に、まさにぴったりです。ペトロが説教するメッセージは、私たちが属しているのは必ずしも認識できるとは限らない世界であり、常に操作できるわけではないことを警告しています。そして、彼が読んだ聖書箇所は、階級制度が終わることを私たちに警告しています。御霊の賜物の区別はなくなるのです。説教、預言的な夢、啓示、これらの御霊の賜物は、すべての人の上に降り注がれるのです。自然でさえも、予期せぬこと、あり得ないことに参画するようになるのです。一言で言えば、ペトロは、神の国が近づいてくることを表現しているのです。それが私たち一人ひとりにとって

どのような意味を持つのか、正確に予想することはできません。しかし、私たちは変えられるのです。社会的な用語で言えば、私たちの「分断がなくなる」ということかもしれません。政治的な用語では、私たちの腐敗がなくなることを意味するかもしれません。霊的な言い方をすれば、私たちの献身は尽きることがない、ということかもしれません。しかし、それがどのような意味であれ、私たちは、最終的に私たちの愛を完成させ、私たちが変えられるように招く聖なる神の謙虚な力に巻き込まれていることに気づくでしょう。

＊ハワード・サーマン「心の瞑想」(Boston: Beacon Press, 1953), 134.

### 考察のための質問

1. 使徒言行録 2 章を読んでください。もし、ペンテコステの日に居合わせたら、どのような感じだったと思いますか？ その体験で、あなたはどのような点が怖いと感じましたか？ あなたなら、どんなことに希望や励ましを感じますか？
2. 最近、あなたの人生に起きた大きな変化について述べてください。その変化で最も困難だったことは何ですか？ その変化は、あなたにどんな成長の機会を与えてくれましたか？
3. 今日、あなたは神様からどのような変化の招きを受けていると感じますか？ あなたはどのように応えますか？

エイミー・E. スティール師、  
学術博士



## 寄稿者のご紹介（その一）

（敬称略）（カッコ内は掲載ページ）



メアリー・チャールズ(P.23)は、教師、受付係、非常勤の牧師です。彼女は歌ったり、御言葉を聞いたり、人々に仕えることが好きです。



42年間牧師を務めたトマス・ブロードヘッド(P.28)は、2012年に癌のため引退しました。神様は彼に祈りと励ましの新しいミニストリーを与えてくださいました。



ローラ・キューン(P.62)は、クリスチャン・ペアレント・カウンセラーの資格を持ち、自由な時間を庭やキッチン、玄関ポーチで過ごしています。



マイク・ベルトグリオ(P.35)は、1972年から1974年にかけて、アフリカのエスワティニで平和部隊のボランティアとして活動しました。



フィリプ・クラーク(P.16)は、教授および研究者として高等教育に携わっています。趣味はガーデニングと自然、そして執筆です。



アリソン・ロックホールド(P.54)は、回想録や感動を与えるノンフィクションを専門とするゴーストライターです。



アウルウィン・バルネイブ(P.37)は、1982年にアイルランドから移住してきました。2人の子供たちは結婚し、アウルウィン夫妻には3人の孫がいます。



引退したジョ・ピッケル(P.30)は、老人ホーム、ごみ廃棄場、惣菜店で働いてきました。その中で、彼女は素晴らしい人々に出会いました。



## ネットでアパ・ルームを 電子アパ・ルームのご案内!!! (アパ・ルームに二つの選択肢)



E・メールによるアパ・ルームが好評のうちに販売されています。

まず、**サンプルをご請求ください**。(無料)。

メールでお申し込みください。PDF 画面でお送りします。

申込先：メールアドレス；**urjapan12@gmail.com**

アパ・ルーム日本委員会

「電子アパ・ルームのサンプル希望」と題して下記を記入してお申し込みください。

郵便番号；住所；氏名；性別；年齢；メールアドレス；電話番号；

FAX番号、(電話、FAX は問い合わせの際必要になります)

☆お申込みのフォームに記入事項がすべて正しく書かれているかをご確認ください。

☆iPad、iPhone による購読可能。(受信容量は 3MB が必要です)

☆画面はフルカラーです。

### \*定期購読をする前、

はじめに、サンプルが読み込めるかどうかをご確認してから、お申し込みください。

### 定期購読の申込み方法：

☆E・メールでお申し込みください。

《申込先》**urjapan12@gmail.com**

アパ・ルーム日本委員会

### 《申込み事項》

サンプル申込み時にご記入された方は、お名前とメールアドレスだけで大丈夫です。

購読期間； 月から 年 (1年以上でお申し込みください)

代金；¥2,400 / 年 × 年数

代金の振込先はサンプル送付の時にお知らせしています。

○外国でお使いになる方は、支払いの方法が変わりますので、そのようにお知らせください。(代金は 28ドル/年)でアメリカ本部へ振り込んでください。(送金手数料が少なく、円換え手数料もかかりません。)

### “パソコンやスマホを使っている方々に、

アパ・ルームの良さと共にお知らせください。

※ 申込みに使われた個人情報は、アパ・ルーム以外で使われることはありません。

## 黙想文を寄稿しましょう

「今日」という日のうちに、日々励まし合いなさい。

(ヘブライ人への手紙 3:13)

アパ・ルームは全世界から寄せられたクリスチャンの証し<sup>あか</sup>によって、構成されています。

その生きた証しに、私たちは日々、励まされ、慰められます。さらに、その日の聖書のみことばが心に留まり、主に導かれて、希望の道へと歩むことができるのです。

私たちも「日々励まし合う」ために、実際の証し（信仰の体験談）を互いに分かち合いませんか？ あなたの証しによって、世界中の人々が、励まされ、慰められ、希望の道へ向かうことができたなら、どんなにすばらしいでしょうか。「アパ・ルーム」（上の部屋）という「恵みの部屋」は「恵みを分かち合う部屋」です。それは私たちにとってすばらしいことですが、なにより主ご自身が最も喜ばれることです。

どうぞ、日頃の信仰の証しをアパ・ルームへ寄稿して、世界中の人たちへ、あなたの実際の体験談を届けてみませんか？ 多くの人たちがあなたの黙想文を待っています。

日本語でどうぞ。日本委員会で、英訳して本部へ送ります。

メールまたは郵送でお送りください。

メールの宛先：[urjapan12@gmail.com](mailto:urjapan12@gmail.com)

郵送の宛先：〒173-0004 東京都板橋区板橋3-32-1 板橋教会内

アパ・ルーム日本委員会 臼田尚樹

書き方は、日々のアパ・ルームを参考にして書いてください。また、アメリカ本部の「詳しい書き方の説明」を日本語に翻訳した資料があるので、それを参考にしてくださってもよいと思います。

上記のメールまたは郵送の宛先まで資料（日本語版）をご請求ください。

郵送の場合は切手 ￥140を同封してください。

☆証しは、世界中から毎年約3,000通が届けられていますので、寄稿されたものが必ず掲載されるとは限りません。このことをご了承ください。一人でも多くの方の寄稿文をお待ちしています。

私たちが共に集まって神様に聴き、互いの話を聞く時、キリストはまったく新しい形で私たちの間におられます。

週に一度、他の信徒たちと集まり、普段より長めに1時間ほど黙想の時を共に過ごしましょう。週のいつでもいいですから集まり、その日に読む箇所を、水曜日に読む箇所と差し替えて読みます。

- 聖書の箇所とその日の黙想文を読むことから始めます。そのあと少なくとも1分間の静かな時を持ちましょう。次に下に挙げる日付ごとの質問に一つずつ答えていただきます。
- どなたかに質問を一つずつ、声を出して読んでいただき、質問ごとに出席者に答えてもらいましょう。特定の質問に答えたくない方がいたら、次の席の人に代わってもらいます。
- 考え方の違いを話し合い、その全体を通して、聖霊があなたに何を語ろうとしておられるか耳を傾けましょう。
- その週の間に、神様と一緒に何をするか決めましょう。
- 静まって一緒に祈りましょう。

集まりの持ち方について、もっと詳しい説明が必要な方は、英文ですが次のサイトをご覧ください。

<https://www.upperroom.org/resources/a-guide-for-small-groups>)

## 5月3日（水）ブックエンド

1. 教会では、祈りや共同体、支え合うことの大切さを、具体的にどのような形で実感していますか？ これらのことを物理的に思い起こさせるものは、あなたをどのように励ましているのでしょうか？
2. あなたにとって、共同体の中で祈ることの意義は何でしょうか？ 他の人と一緒に祈る祈りは、個人的な祈りとどのように違いますか？ それはなぜですか？
3. 誰かが他の人のために支えとなって行動しているのを見たときのことを話してください。その支えによって、支えられてい

る人の状況はどのように変わりましたか？

4. 祈りは力強い支えになると思いますか？ なぜでしょうか？  
それとも、なぜそうではないのでしょうか？ あなたの所属する  
クリスチャン共同体では、他にどのような力強いサポートの形  
がありますか？
5. 誰が祈りであなたを支えていますか？ あなたは祈りによって  
誰を支えていますか？ 他のクリスチャンの祈りによる支えは、  
あなたにどのような勇気と力を与えてくれますか？

## 5月10日（水）前を見る

1. あなたは過去の出来事から簡単に横道にそれてしまいやすい  
ですか？ それはなぜでしょうか？ または、なぜそうではないの  
でしょうか？ どのようにして、現在に焦点を戻しますか？
2. ヘブライ人への手紙12章1－2節にある、人生を競走にたと  
えた御言葉は、否定的な経験を振り返るのではなく、前を見る  
ことをどのように促しているのでしょうか？ 他に、どのような聖  
句が、前に進み続けるようあなたを励ましてくれますか？
3. 自分の後ろにあるものにつまずいたことがありますか？ つま  
ずいた原因は何ですか？ どのようにして足元を固め、前に進ん  
だのでしょうか？
4. 過去にこだわりすぎることで、どのように足かせとなってい  
まうのでしょうか？ 過去を振り返ることは、あなたの信仰を深め、  
キリストの福音を伝えることを妨げますか？ なぜでしょうか？  
または、なぜそうではないのでしょうか？
5. 「信仰の創始者また完成者であるイエス」に焦点を当て続ける  
ために、どのようなことが役に立ちますか？ なぜ、キリストに  
焦点を合わせることがそんなに重要なのですか？

## 5月17日（水）必要とするものすべて

1. あなたは、神様があなたの前に置かれた召命に対して、備え



を身に着けていないと感じたことがありますか？ あなたはその仕事を引き受けましたか？ その結果は、どうになりましたか？

2. 神様はあなたが見過ぎてしているものを用いて大きな影響を与えることができると知って、どのように励まされましたか？ これにより、何が大切なのかについて、あなたの考え方はどのように変わりましたか？
3. 今日、あなたが手に持っているものは何でしょうか？ あなたはそれを小さくて価値のないものと考えていますか？ それとも、価値のあるものと捉えていますか？ あなたは、神様の召しに応えるために、持っているものをどのように使いますか？
4. 神様は、あなた自身、あなたの賜物、あなたの能力の価値を、どのように最も多く示してくださるでしょうか？ 聖書、祈り、他の人々、静かで小さな声を通してですか？ 話してください。
5. クリスチャーンの共同体は、メンバーがそれぞれの賜物を受け入れるとき、どのように強められるでしょうか？ もし、あなたの教会のメンバーが、神様から与えられた賜物や才能を十分に発揮したら、教会はどのように変化するでしょうか？

## 5月24日（水）名声は要らない

1. あなたが出会う人々は、あなたやあなたの仕事に感銘を受けることが多いですか？ それとも、あまり感銘を受けないように見えますか？ 他の人の反応は、あなた自身やあなたの仕事に対する見方にどのような影響を与えますか？ なぜでしょうか？
2. あなたは今まで、華やかでないように思える仕事やミニストリーに召されたことがありますか？ あなたはその召しに応じましたか？ どのような経験をし、何を学びましたか？
3. ダビデの話のほかに、神様からの召しはすべて重要であることを教えてくれる聖書の物語はありますか？ これらの物語は、あなたが自分の召しに応えるとき、どのようにあなたを支えてくれますか？

4. あなたは、名声のある仕事に就いているとき、あるいはあまり「印象的」でない仕事をしているとき、どちらの方がキリストの力を宣べ伝えることが容易であると思いますか？
5. 神様があなたに「巨人」と戦う力を与えてくださった時のことを思い出してください。その経験は、神様があなたに召されたことを行うために、どのような方法であなたを力づけてくださることを思い起こさせますか？

## 5月31日（水）感謝の心

1. あなたの霊的な旅を振り返って、あなたの人生の方向性を形成する上で大きな役割を果たした人は誰ですか？ もしその人がいなかったら、あなたの人生はどうなっていたと想像しますか？
2. 神様があなたの人生に、あなたを励まし導いてくれる人を連れてこられるとき、あなたはその人と神様にどのように感謝の気持ちを表しますか？ 感謝はあなたの信仰をどのように形成していますか？
3. 最近、他の人があなたの人生にもたらした祝福は何ですか？ 他人が自分の人生にもたらす祝福を積極的に意識することで、あなたの祈りや行動はどのように変化するでしょうか？
4. あなたにとって、感謝の心を持つとはどのようなことですか？ そのような感謝の気持ちを抱いているとき、あなたはどのような点で振る舞いが違いますか？
5. あなたが意図的に他の人の人生に祝福をもたらす方法を3つ挙げてください。あなたが他の人から受けた具体的な祝福を3つ挙げてください。これらの相互の祝福の行為は、あなたの人生をどのように豊かにしてくれますか？

## 6月7日（水）専門家に聞く

1. あなたは、自分の持っているスキル以外の仕事をしなければならないとき、専門家に依頼しますか？ それとも自分でやろう

としますか？ それはなぜでしょうか？ どちらを選ぶかによって、結果はどのように変わるのでしょうか？

2. あなたは、ある状況において導きや助けが必要なとき、簡単に神様に頼ることができますか？ なぜでしょうか？ または、なぜそうではないのでしょうか？ 不安な時に神様に頼るのは、何が助けになりますか？
3. 神様の御心を明らかにしてくださるよう祈り求めるとき、あなたはどのように神様の御心を見分けますか？ 神様の導きを受けた後、あなたはどのように進みますか？ 神様から聞いたことが受け入れられないとき、あなたはどうしますか？
4. あなたは、人生の重要な問題について助けが必要なとき、どこで、あるいは誰に頼ることが多いですか？ あなたは今までに、思いがけない方法で導きを得たことがありますか？ 話してください。
5. 神様は、聖書を通して、あなたにどのように語りかけておられますか？ あなたは神様からのその語りかけをどのように受け入れていますか？

## 6月14日（水）立ち止まって考える

1. あなたは、友達と一緒にデボーションの時間を持ちますか？ このように他の人と一緒に過ごすことは、どのようにあなたの信仰を強め、新しい洞察を与えてくれるのでしょうか？
2. あなたは、キリスト教の教えに出会って、後になってその適応を理解したことがありますか？ 何がきっかけで、ようやく、その教えが身にしみたのでしょうか？
3. 誰かがあなたを怒らせたとき、あなたは怒ったままにいるのと、相手の視点から状況を見ようとするのと、どちらが楽だと思えますか？ 一歩立ち止まって、神様の御心を考えるとき、あなたの考え方はどのように変わるのでしょうか？
4. 神様があなたに必要なびったりの言葉や仲間を与えてくださっ

た時のことを思い出してください。その経験は、神様があなたを導いていることに、どのように気づかせてくれましたか？

5. 神様があなたに語りかけているのを聞くために、どのように時間を作っていますか？ ゆっくりと真剣に耳を傾けるために、どのような霊的実践や祈りが役立ちますか？ そうすると、どのようなことが起こりますか？

## 6月21日（水）神様は良いお方です

1. あなたは、一番になろうと努力し、他の人々から成功者だと思われるように努めていますか？ 失敗を経験するとき、あなたは苦しみますか？ なぜでしょうか？ それとも、なぜそうではないのでしょうか？
2. あなたは、成功していないときでも、希望と満足感を持ち続けることができますか？ 成功していないとき、神様に目を向けるのに何が役に立つでしょうか？
3. 困難な時に、祈りや聖句、周りにいる人たちは、どのようにあなたを支えてくれますか？ あなたがこの世でどんなに成功を収めようとも、神様はあなたを愛してくださっていることを、それらはどのように思い出させてくれますか？
4. あなたが失敗を通して学んだ最も意味のある教えは何ですか？ その教えはあなたの人生にどのような影響を与えましたか？ また、神様や他の人々との関係にどのような影響を与えましたか？
5. あなたの状況にかかわらず、神様は良いお方であることを最もはっきりと思い出させる聖句は何ですか？ あなたは、打ちのめされたとき、どのようにその聖句にしがみつきますか？

## 6月28日（水）神様の霊が執り成してくださる

1. あなたは日頃、誰と一緒に祈っていますか？ その祈りの実践は、あなたを神様や祈りの仲間になんのように近づけてくれますか？ あなたの祈りの習慣は、あなたの仲間になんどのような点で異

なっていますか？

2. あなたは普段、声を出して祈りますか？ それとも黙って祈りますか？ それはなぜでしょうか？ それは、あなたの状況によって変わりますか？ 話してください。
3. 祈る言葉が見つからずに困ったことはありますか？ とにかく、どうか祈りましたか、それとも祈ることを止めましたか？ あなたは、言葉なしで、どのように祈りますか？
4. あなたのために祈ってくれた人が、何を言うべきか正確に知っていたのはいつですか？ 誰かがあなたのために祈ってくれた中で、最も意味のある祈りは何ですか？
5. あなたは他の人のためにどのように祈っていますか？ 他の人はあなたのためにどのように祈っているのでしょうか？ このことは、あなたにとって、またあなたが豊かに生きるために、どのような違いをもたらしますか？

### 編集室より

復活したイエス・キリストが天に上げられてから、120 人ほどの人々は「上の部屋」に集まって祈りました。「アパルルーム」という書名はこの「上の部屋」から取られました。彼らは御言葉を信じて 10 日間祈り続けたのです。すると五旬祭の日に「突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。」（使徒言行録 2 章 2 節）のです。そのとき、祈っていた人々はペンテコステ（聖霊降臨日）の恵みに与り、上からの力、平安、喜び、希望、愛に溢れました。多くの苦しみがある今の時代ですが、日々のデボーションでの祈りによって、上からの恵みを経験して歩んでいきましょう。

「わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてくださる。」

ヨハネ福音書 14 章 16 節

# 寄稿者の ご紹介 (その二)

(敬称略)

(カッコ内は掲載ページ)



ラリー・スキャンラン(P.59)は、病院の最高経営責任者として働いていました。彼は、家系図が好きで、1,000人以上の家族を特定してきました。



ロランダ・Ｔ・パイル(P. 51) はソーシャルワーカーであり、アルツハイマー型認知症患者の介護者を支援しています。



スリランカ出身のポール・ベンジャミン(P.69)は、インドでハンセン病患者の介護をするボランティアをしていました。



マーシ・クロール(P.47)は、オートバイに乗るのが好きです。2人の子供の母親であり、また専任の牧師になることを志しています。



キース・ボール(P. 15) は、非営利の電気協同組合の弁護士です。妻と2歳の娘と暮らしています。



メアリー・Ｂ・エルバ(P.25)は、妻であり2人の子供の母親です。切り抜き帳、歴史小説を読むこと、旅行、犬の世話を楽しんでいます。

定価 400円(税込)